

令和5年度

総代懇談会のご報告

●主なご意見へのお答え●



 JA福岡市

目次

指導経済部門	2
営農指導	2
普通作・もみすり・乾燥	2
園芸	3
博多じょうもんさん市場	4
農業振興・農地保全	4
生産資材	6
農業所得向上	7
有害鳥獣対策	7
その他	8
金融部門	11
信用	11
融資	12
共済	13
相談	14
その他	14
企画管理部門	15
経営管理	15
意思反映	16
職員・人事異動	16
出資	17
固定資産	18
母子店一体化構想	18
県域オール JA・合併	21
その他	22

組合員の皆さまへ

この冊子は、令和5年11月13日から24日に行いました総代懇談会に於きまして、皆さまからお寄せいただいたご質問やご要望・ご意見と、それに対します当JAの現状や考え方をお答えしたものです。当JAは、本年度事業の中で皆さまのご意見を反映させるよう努力いたしますとともに、直ちに実行不可能なものについては、次年度計画に反映させるよう努力いたします。

なお、回答につきましては、12月末現在で作成しておりますので、時間的経過による若干の変化が生じているものがあります点はご了承ください。

また、質問等で似通っているものや簡単なもの、特殊で個人的なものについては、掲載を省略していますのでご了承ください。

●質問・要望事項の数

合計 84 件（指導経済部門 35 件、金融部門 16 件、企画管理部門 33 件）

※まとめたものについては、それぞれの部門でカウントしています。

●出席組合員数

支店名	総代数	出席総代数	総代出席率 (出席総代数÷総代数)	その他の出席者数	合計
堅粕	16	12	75.0%	8	20
板付	24	20	83.3%	2	22
日佐	20	14	70.0%	0	14
三宅	16	12	75.0%	6	18
那の川	7	4	57.1%	4	8
花畑	18	13	72.2%	6	19
樋井川	19	14	73.7%	4	18
別府	5	4	80.0%	4	8
原	24	17	70.8%	11	28
田隈	35	24	68.6%	0	24
入部	33	19	57.6%	0	19
脇山	31	21	67.7%	2	23
内野	30	24	80.0%	1	25
金武	35	25	71.4%	0	25
壱岐	41	27	65.9%	8	35
姪浜	8	6	75.0%	7	13
能古	12	11	91.7%	6	17
今宿	23	19	82.6%	0	19
今津	21	12	57.1%	6	18
周船寺	31	19	61.3%	1	20
元岡	48	34	70.8%	0	34
北崎	34	20	58.8%	0	20
合計	531	371	69.9%	76	447

指導経済部門

営農指導

Q1 貯金や共済の目標の話があったが、私たち農家組合員は農産物売ってその代金で生活し、JAに貯金したり共済に加入している。そのことを踏まえ、部会担当者は作物を売る勉強をしっかりと行ない、作物を高く売る努力をしてほしい。

部会担当者には、しっかりと市場に足を運び、情報収集し生産者の皆様にその情報を返し、市場では産地をアピールするように指導しております。また、担当者が代わっても産地のレベルを維持・向上できる販売体制づくりに努めてまいります。

指導員に対し、荷受けしてお預かりした農産物は農家組合員の大切な財産であることを認識し、代金精算が終わるまではしっかりと管理するように指導しております。

普通作・もみすり・乾燥

Q1 令和5年産米出荷状況の出荷数量が少ないのではないかと？

夏場の高温障害によるものなのか、元気つくしにおいては、特に早良管内で収量・品質ともに低下しています。ヒノヒカリも同様に、出荷契約に対する集荷率は91%を見込んでいます。今後、原因について調査し、集落座談会等で報告します。

Q2 令和5年産の福岡の米作況は「やや不良」であった。今後も異常気象が続くと予想される。新たな品種の研究・対策は考えてほしい。

全国的にも高温耐性品種が作付拡大されており、福岡県も「恵みつくし」という夢つくしのような中山間地向け品種の現地試験を開始したところです。当JAも6年産で少し試験作付けしていきます。主力のヒノヒカリに代わる有望品種がまだできていません。福岡県もAIを活用した品種開発にとりかかるようです。

Q3 米の1～3等級というのは見た目のみで食味には関係ないと聞かすが、変わらないのであれば3等も販売方法もあるのではないか？

1等は粒に丸みがあり、整粒といわれる米粒が70%以上が1等、60%以上が2等、45%以上が3等という基準があり、精米において削る量を考慮するどうしても安く取引されることとなります。

Q4 普通作部会外の出荷者でも無農薬で作付けしている方もいる。普通作部会以外は一般米として一括りにされるが、価格に転嫁してもらえないか？

消費者との交流や消費拡大のため、取引先との圃場登録等の会則を遵守し、生産された米であることを前提に取引しています。まずは普通作部会へ加入していただくようお願いします。

園芸

Q1 GAPの取得について、海外出荷を対象としたジャパンGAP等について検討されているか？

JGAP取得には、細かな部分まで証明していく必要があります。さらには取得・更新に多大な費用を要します。当JAは、まずは費用が安価で取り組みやすい福岡県GAPの取得を推進しています。福岡県GAPとは生産者自らの取り組みであり、農産物価格に反映させることが目的ではありません。GAPを通じ、農業者が社会規範を遵守すること・無駄を省くことで収支改善・安定経営を目指すことを目的に取得推進を行っています。今後も消費者に理解してもらえよう更なる広報に取り組んでいきます。

Q2 根こぶ病の菌密度検査は部会員でないと受けられないのか？

有料にはなりますが、部会員以外の方でも検査を受けることができます。ただし、菌密度検査は10検体単位での価格設定となっており、数万円の費用がかかるため、まずは土壌や苗に対する農薬を使用されることをお勧めいたします。

博多じょうもんさん市場

Q1 直売所出荷会員が減少した理由を伺いたい。

出荷会員が高齢化により作付けを減らし、販売を見送られるケースが多いようです。

Q2 博多じょうもんさん市場出荷者は何名なのか？

9月末現在で745名です(業者含む)。新規で24名が加入されていますが、高齢等の理由により退会される方が30名いらっしゃり、昨年より6名減少しています。

Q3 じょうもんさんより販売状況のメールが1日3件来ているが、毎月の販売分も明細表の送付じゃなくメールでできないのか？

有償とはなりますが、毎月600円でお持ちの端末機器から販売明細を閲覧できるサービスがあります。ご利用ください。

農業振興・農地保全

Q1 空いている農地を利用した市民農園の取組みを斡旋してほしい。

(株)JAファーム福岡で農園を開設し、1区画30㎡程度の貸農園を運営しています。現時点で駐車スペースに課題がありますので、福岡市へ農園内駐車ができるよう要望しています。農園開設希望がありましたら支店を通じて(株)JAファーム福岡にご連絡ください。

Q2 今後も活発に農業を営んで行けるようJAの協力を求める。

JAの本来の目的であり、一緒になって取り組んでいきます。

Q3 福岡市から地域計画の策定依頼が来ており、今後10年の地域の計画を策定することになるが、JA福岡市としての地域の課題に対する考えを聞かせていただきたい。

従来の「人・農地プラン」から「地域計画」に移行することになり、市や農業委員が中心となって策定を進めることとなっていますが、現状は計画策定の説明が始まった段階です。JAとしては、農業従事者が大幅に減少して行く中で、現田園風景を将来も継続していけるよう地域の方々と一緒に協賛し支援できればと考えています。

Q4 耕作放棄地の問題は、稲作という意識を外していかないといけないのではないか？作物の枠にとらわれない発想で、守りだけでなく攻めの発想も必要ではないか？

今回の地域計画策定は、耕作放棄地をこれ以上増やさないよう地域の話し合いで10年後の将来像を描くこととなっています。地域の話し合いが重要となりますのでご協力をお願いします。

Q5 市民に完全に農地を任せることは難しいと思われる。特に中山間地域の管理は難しい。地域の方の補助を何かしら考えていく必要がある。また、市民が農地に来るのに駐車場が必要であるが、農地を駐車場にすることは農地法違反でできない。

福岡市民に農地保全・農業の重要性を主張しながら、農業・農地維持活動への理解を求めていくことが重要と考えています。農園内の駐車場設置についても福岡市に要請している状況です。

Q6 中山間地域とはどういったイメージをしているか？中山間地域を大きくとらえ、どのような事業ができるのか全体で考えてもらいたい。

中山間地は、水田の畦畔が大きく畔草刈りが平地の管理から比べると数倍手間がかかるイメージです。今回の地域計画策定の中で、福岡市・農業委員会からアドバイスをいただきながら、より良い方向性を生み出していきたい。

Q7 集落の農事組合員が16名いるがほとんどの家庭で後継者がいない。数年後には農地の維持ができなくなる。国の補助金などがあるならばJAで一括管理してほしい。JAで管理してもらえれば農地が荒地にならずに維持できる。もしそれが不可能ならば、誰かに依頼して維持していくことになるが、そうすると維持にお金がかかり誰も作らなくなる。農地を残すシステムを構築してほしい。

農事組合については、集約など検討していただいています。農地の維持・管理はまず地域で話し合ってください。地域でできないのであれば別の地域の方、(株)JAファーム福岡等を検討いただいています。画一的にJAが行なうのは難しいため、まずは地域で検討いただきますようお願い致します。JAとしてもサポートは行なっておりません。

Q8 地域計画について具体的な詳細を聞かせてほしい。

農業振興地域の 10 年後の農地の管理を地域の話し合いによって誰が担っていくのか協議いただき、その原案を農業委員会が策定し、それを福岡市が承認することとなっています。まずは令和 7 年 3 月が一つの区切りとなっていますが、毎年検討協議を行い見直しを行っていくという制度です。

生産資材

Q1 購買事業を利用しているが、明細にお客様番号が記載されているが口座番号と同一である。万が一のこともあり不安がある為、改善を希望する。

購買代金請求書(圧着ハガキ)をご利用者へ送付しております。ご意見をいただきました購買代金請求書に記載されておりますお客様番号については、削除する方向で進めてまいります。

Q2 一発肥料の被覆資材による海洋汚染が問題視されている。JA福岡市としての対応を教えてください。

マイクロプラスチックが使用されていない化学合成緩効性肥料については研究を行っております。また現在、被膜の崩壊性を高めた肥料の実用化に向けて生育調査を行っております。

Q3 農薬が近隣 JA より1割程度高いが共同仕入等できないのか？

一部の肥料・水稲除草剤については、近隣 JA との共同仕入を実施し、価格低減に取り組んでおります。また、園芸部会においては、農薬特別予約価格を設定し低コスト化に努めております。今後も引き続き生産資材の共同仕入れについて検討・協議を進めてまいります。

Q4 「もみ殻くん炭」を JA 福岡市と近隣 JA で購入したが価格差が 3 倍あった。西 GC では 30 リットル 900 円台、近隣 JA では 100 リットル 1,030 円であった。このような価格差が発生しないように対応してほしい。

当 JA では、「もみ殻くん炭」の取扱量が少なく(年間 20 袋前後)仕入における運賃コスト等の関係もあり、スケールメリットが出せない状況です。引き続き取引業者との交渉及びその他仕入業者の検討を行ってまいります。

農業所得向上

Q1 担い手問題で儲からない農業を継ぐことは難しいと思われる。いかにして儲かる農業をやっていくか方向性を農協に示していただきたい。

農業だけ儲かるのは難しい時代になってきています。国も大規模農家だけで農業を運営していくことは難しく、小規模農家が必要であることは認識してきています。福岡市長等にも要望していますが、これからどうしていくべきかJAとしても検討しているところです。福岡市民に農地の必要性等を意識づけし、地域の農業を市民全体で守っていく体制を構築する必要があります。今の農業だけでの農地維持は厳しい時代です。

有害鳥獣対策

Q1 イノシシを個人で捕獲してもお金が出るようにしてほしい。

狩猟免許取得者で福岡市から事前に自衛箱罾許可をもらい駆除した場合は、福岡市から11千円/頭くらいの助成があります。助成要領で証明等の提出が必要です。ウリボウは5千円/頭とのことです。

Q2 サルの群れに困っている。行政から配布される花火も一度に1本や2本と少ない。法律の制約等もあるだろうが、GCなどで購入できるようになるなど検討いただきたい。

脇山支店にサル追い用花火を準備しています。少ないようであれば増量できるよう検討します。また、猟友会(猿班)へ追い払いを依頼しますので、出た場合はご連絡ください。

Q3 イノシシの箱罾を設置するのに、経営主の名前で申請しないと認められないと聞いた。同居の息子名義でも承認されるようJAから行政に要望いただきたい。要件も、狩猟免許の取得や猟友会への加入が必要と聞いたが、ハードルが高い。ちなみに、農地ではなく宅地である。

イノシシ駆除(箱罾設置)については、狩猟免許取得が前提条件であるため、免許取得者が申請することになります。申請先が農地の場合はJAで受付し福岡市農林水産局へ申請します。宅地の場合は生活被害になるため区役所にご相談ください。

その他

Q1 瞬間冷凍機の購入を昨年お願いしていたがどうなったか？

需要調査を行ったものの、利用希望が少ないことから JA での導入はしないことになりました。

Q2 農家労働力支援について、中山間地農業については、人手が足りておらずJAとしての考えを教えてください。

国も中山間地農業、小規模農業が重要であることは認識してきています。福岡市長等にも要望していますが、福岡市民に農地の必要性等を意識づけし、地域の農業を市民全体で守っていく体制を構築する必要があります。今の農業だけでの農地維持は厳しい時代です。

Q3 本年が暑かったとのことであるが、米や園芸品について対策を検討しているのか？

米の品種において、みのりつくし等品種改良してるものもあります。野菜や青果物での高温耐性の品種対策は厳しいですが、ビニールハウス等で塗料を施して冬の品種を夏に栽培するなど工夫しています。

Q4 農業者年金はいい制度である。JA も案内を強化してほしい。

農業振興課が窓口になっております。情報発信を強化して加入者の拡大を図ります。

Q5 燃料費が高騰している中で、入部スタンドを利用しているが、組合員割引の導入を検討してほしい。

現在入部スタンド給油の際に組合員(給油口シール確認)及び会員カード(現金)提示のお客様については、ガソリン・軽油店頭価格より 2 円/ℓ 割引を実施しております。会員カード申し込み等については入部スタンドへお問い合わせください。

Q6 糸島の田を作付けしてもらっているが利用権設定は行ったほうが良いのか？ハウスを借りているような場合でも設定を行ったほうが良いのか？

糸島の圃場でも利用権設定は行っていただきますようお願いします。ただし、地域計画に併せて令和7年3月に利用権設定は無くなり中間管理機構を利用することになります。

Q7 新規就農として2年経過したが、親族からの経営移譲でなければ狭き門と感じる。JAとして就農者を増やしたい考えはあるのか？新規就農者への対応はどのように考えているのか？

新規就農者については、多くの相談を受けています。JAとして時間をかけて面談を重ねサポートしています。まずは、行政が進めているインターンシップ事業等を活用し就農するか決めるのが最善の方法だと考えています。

Q8 JA職員によるダブルワークについて、土日だけでなく曜日の緩和を要望したい。

「daywork」アプリを活用して、短期アルバイトの募集ができる制度を検討しています。

同アプリは、JA職員に募集を限定する「限定公開」と一般登録者を募集する「一般公開」の2通りの募集方法があり、平日でも募集ができる無料アプリとなっています。

JA職員が平日に依頼を受ける際には、有給休暇・振替休日で対応できますが、要望に確実に応えできない場合がございますので、予めご了承ください。

詳細が確定し次第、広報誌「Jam」等でお知らせいたします。

指導経済部門

Q9 花卉出荷場の事務所はエアコンが設置されていない為、夏は暑く冬は寒い。エアコンの設置を要望する。

また、廃プラ、廃ビニールの回収があったが処分費が高いため、以前のように市からも助成してもらえるように JA からも市へ伝えていただきたい。

エアコンについては令和 6 年度予算に入れるように検討しております。

廃プラ、廃ビニールについては数年前までは市の予算がありましたが現在は予算がありません。JA として市に今年度要望を出しております。

金融部門

信用

Q1 JAのキャンペーン定期貯金の金利は高いが、どのように算出・決定しているのか？高金利商品を販売して収益面は大丈夫なのか？

収益面や他行の動向を鑑みて、内部で協議の上、決定しています。キャンペーン定期貯金につきましては、新規預け入れを金利上乘せの対象にしており、費用を抑制しながら貯金獲得に取り組んでおります。

Q2 メガバンクをはじめ金利が 100 倍となる定期を発売しているが、JAとしてはどのような対応を行っていくのか？

他行で発売されている金利が 100 倍となる定期貯金は、期間 10 年で 0.2%であり、当JAとしては様々なキャンペーン定期を発売してきており十分対抗できると考えています。

Q3 貯金残高計画マイナスであるが、NISA や投信の取扱いを JA として検討できないのか？

投信や外貨預金は当JAでは取扱いしておりません。全国の JA では取扱いしている JA もあるので、参考にしながら今後検討していきます。なお、貯金残高は期首から増加しています。

Q4 株式の売買等において JA の口座利用は可能なのか？また購入についてのコンサルティングはできないのか？

株式の売買を行う際は、各証券会社で証券口座の開設が必要となります。証券口座と連携して入出金を行う金融機関については、お取引の証券会社へお問い合わせ下さい。

Q5 現在親の貯金を出金する際、高齢な親を連れて窓口に行き、出金伝票も本人の記入が必要とのことで、記入させているが、文字を書くのも困難な状況である。代筆することはできないか？

意思能力があり、文字が書けない方等よりお申し出いただきましたら、状況等を確認のうえ対応させていただきますので、店舗へご相談いただきますようお願いいたします。

金融部門

Q6 町内会の口座の名義変更について、銀行とくらべ必要書類が多く、新旧役員の同席、住所の福岡県からの記載などが必要である。緩和できないのか？

新役員(代表者)様のご本人確認書類および新役員(代表者)様に変更されたことが確認できる規約・議事録等をご持参のうえ、ご来店いただければ、お手続き可能でございます。ご来店前にお取引店舗へご相談いただきますとスムーズにご案内できます。

Q7 キャンペーン定期の「新規預入」とあるが、JAの普通貯金に振込されている販売代金や家賃は対象となるのか？

貯金残高を伸長させていくための取組みであることはご理解いただき、他行からの預け替えと合わせて対応する等検討させていただきます。

Q8 店内振込みの手数料の関係で、ATMの利用が増えている。ATMを増設してほしい。

元岡支店は西グリーンセンターも併設しており来店者も多いと理解しています。ATMについては、機械購入代やランニングコストを考慮しながら今後検討してまいります。

融資

Q1 兼業農家が増加してく中でトラクターをはじめ農機の高額化が負担である。今後はリースやレンタルも検討するが、リース・レンタル等に対応する融資商品はないか？

農機の購入については、農機ハウスローン等をご利用いただけますが、リースやレンタルは、本来月賦や融資の性質があり、これを目的とする融資商品はありません。

検討はいたしますが、近々の商品化は困難です。

共済

Q1 自動車共済満足度 98.5%のアンケート内容及び根拠を知りたい。

アンケート内容は事故連絡時対応・現場急行対応・事故処理初期対応・途中経過報告・支払内容説明・事故解決時間など全 18 項目で満足系から不満系の 6 段階での回答となります。

事故事案完了後にアンケートを発送しており、発送数 180 件、回答数 73 件(回収率 40.6%)のうち、事故解決までのサービス全般についての満足系回答数 71 件、不満系回答数 2 件、事故対応総合満足度 97.3%の結果となりました。今後も顧客満足度向上、事故対応時のサービス向上に努めます。

Q2 建更について、積み立てがない掛け捨て商品は導入できないのか？

建物更生共済の掛け捨て商品の要望を共済連に要望していますが、商品発売の予定はございません。

現在、共済連の連結子会社である共栄火災海上保険の火災保険商品の取り扱いに向けて研究を行っております。

Q3 自動車共済において、イノシシとぶつかり車に損傷があった場合、対物事故として処理され車両共済金で請求した場合等級が 3 等級ダウンするとの事だが、JAらしい有利な制度が作れないか？

JA 共済の制度、仕組みについては全国的なものであり、変更するには難しいものがありますが、共済連に要望していきたいと思えます。

現在、自動車共済の対物事故案件で、車両共済金請求した場合 3 等級ダウンする「物」の例として、自動車や家屋、電柱、犬猫などのペット類、牛豚などの家畜類、樹木類などとなります。

相談

Q1 支店にて相談の専門担当者の設置を望む。

支店長ならびに総合相談係長をはじめ支店にて相談対応を行っております。状況に応じて、相談課、開発センターのバックアップにより問題解決を行っておりますので、今後も、支店を第一相談窓口としてご利用いただきますようお願いいたします。

Q2 記帳代行の事業総利益を見ると収益が上がっているため、手数料を下げることはできないか？

事業総利益には人件費等の事業管理費が加味されておらず、事業管理費を差し引いた事業利益を鑑みると手数料を引き下げることが厳しいと思われます。税理士に依頼するよりも低い金額で手数料を設定していますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

その他

Q1 昼休みを導入しているが、現状を伺いたい。

導入後、組合員・利用者の皆さまからの苦情はありません。将来的に子店以外の店舗についても導入する予定ですが、組合員・利用者の意見を賜りながら進めてまいります。

Q2 昼休み導入については、今後他支店でも導入していくのか？

導入した店舗の組合員・利用者・職員の意見を聞きながら、また、併設事業所(GC・直売所)がある場合などを十分考慮したうえで導入を拡大していくか検討してまいります。

企画管理部門

経営管理

Q1 利用事業の中身を教えてください。

利用事業は、ライスセンター等JA所有の農業用施設を組合員が利用した際にいただく利用料金が主になります。なお、那の川複合施設や現在建設中の板付一体化施設の上層部にあります組合員向け共同住宅の賃料も含まれることとなります。

Q2 利用事業の減少要因は何か？

水稻の育苗事業に関する収益計上を利用事業から購買事業に変更したことによる影響が主な要因です。

Q3 本資料(決算資料)は3ヶ月毎に作成しているか？

決算資料は四半期毎に作成し、7月(第1四半期分)、10月(第2四半期分)、1月(第3四半期分)の理事会において報告し、年度末決算については4月の理事会に付議し、承認後、地区別説明会において組合員の皆様に説明させていただいた上で6月の通常総代会に上程しております。

Q4 循環型総合事業の取組みの中で、経営自体が金融中心で農業に還元されていないと感じる。農家の所得向上のためにJAの施策と農家の生活が上手くマッチするような取組みをお願いしたい。

循環型総合事業を行い信用事業で得た収益をGC、直売所の運営に充て、農産物を販売し、農業収入所得向上を意識して取り組んでおります。

今後、金融情勢も上向いていくことが予想され信用事業で十分な事業収益が確保されるようになれば、更なる農家支援を企画してまいります。

意思反映

Q1 11月17日の女性部・フレミ合同会議の中で緒方講師より女性の参画についての講義を受けたが、JA 福岡市はどのような状況か？

現在の役員の内訳は常勤役員 6 名、地区選出理事 22 名、女性部理事 2 名、青年部理事 1 名、監事 4 名なっておりますが、指標となる 15%に達していません。今後、女性役員を積極的に登用していかねばならないと考えます。

総代については、531 名中 101 名が女性総代となっており、女性比率 19%となり指標となっている 15%を超えております。

また、女性管理職の登用も進めていますが、管理職を目指す意欲ある者が限られる傾向があり、思うように増加していない状況です。

職員・人事異動

Q1 職員採用について、親子で勤めることは出来ない規定になっているのか？規定見直しを検討願いたい。

当 JA は親子で勤務してはいけないという規定はありませんが、不正に対するリスク等、総合的な観点から実例はありません。一方で、兄妹や有期契約職員と正職員の親子勤務は存在しており、今後の可能性は検討してまいります。

Q2 新卒採用の人数が年々減少している理由を伺いたい。

少子化による新卒者数の減少、また就職活動の傾向として、本命の業種に絞っての活動傾向にあるようであり、年々減少傾向であると考えられます。しかし、当 JA を強く志望する学生の応募は多くなったと実感しており、現状では必要な採用予定者数の確保は出来ていると考えています。

Q3 総代懇談会資料 P.18 の労働環境に関する項目において、来年の採用予定者が 20 名と記載があるが、令和 5 年度と令和 4 年度入組は何名いるか？

令和 3 年度が 22 名、令和 4 年度が 10 名、令和 5 年度が 23 名入組しています。

Q4 支店職員は行動計画など頑張っている。賃金の上昇を積極的に検討してほしい。

職員へのお褒めの言葉をいただきありがとうございます。賃上げについては政府からの呼びかけもありますので、事業利益の確保を図りながら慎重に検討してまいります。なお、令和5年度に一律 2,500 円のベースアップを実施して、基本給の引き上げを行っています。

Q5 早良グリーンセンターの営農指導員・職員が少ないため、一部の職員への負担が過大になり体調不良や退職者が増加していると思われる。職員の増員をお願いしたい。

早良グリーンセンターにおいては、配送担当として有期契約職員を採用しましたが短期間で退職、また正職員で1名体調不良による休職が発生しております。人員については、他の職場でも体調不良で休職している職員がおり全体的に不足している状況があります。できる限り早期に解消できるよう対応してまいりますのでご理解をお願いします。

出資

Q1 貯金が集まらないそうだが、配当率の高い出資金をすすめたらどうか？増強運動はしないのか？

出資は現在の金利に比べて配当率は高いものの、貯蓄性商品ではなく流動性も低いため、急な出費への対応などができません。したがって、組合員加入促進や増資のお願いは行いますが、意図的に貯金に代わるものとしての特別な運動などは考えておりません。

Q2 福岡市東部のように出資上限を 500 万円にしないのか？

令和3年度に上限 200 万円に引き上げており、今のところ更なる引き上げは考えておりません、なお、JA福岡市東部については、現在上限 500 万円の引き受けは控えて、一定金額までの制限をかけていると聞いています。

固定資産

Q1 支店駐車場の運用について、コインパーキング案について以前提案していたが検討するとの回答であった。常時駐車可能の状況であれば、支店を利用しない人が停めたままという事もあり得る。その場合に支店利用客が駐車できない可能性もあり、コインパーキングも検討した方が良いのではないか？

那の川支店の ATM 稼働時間は平日 17 時迄であり、土日は稼働していませんので、チェーンは道路前面と支店敷地の境に設置して 17 時以降に閉めています。コインパーキングによる運用を行った場合、支店イベントで駐車場を利用しにくいといったご意見もございます。以上のことから、以前ご提案いただいていたコインパーキングは現状運用しておりませんが、今後店舗運営状況で ATM 稼働時間見直し等があればコインパーキングの検討も必要になるかと存じます。

Q2 別府支店の築年数もかなり経過している。改修を検討してほしい。

建て替えや回収については、すべての支店や事業所など施設の現状を見ながら計画的に対応しておりますのでご理解をお願いします。

Q3 農協の建物にアスベストを使った建物はあるのか？

アスベストが使用された施設も存在しておりますが、健康を害するレベルのものではないとの確認を得ております。

母子店一体化構想

Q1 板付跡地利用について、いつまでに決定しないとイケないのか？

跡地利用につきましては東グリーンセンター管内の全体構想も含め検討を進めております。期限は決まっておりますが将来に向けた有効な活用案を出来るだけ早くご提示できるよう継続して取組んでまいります。

Q2 板付跡地利用については、品揃えや近隣の競合他社との兼ね合いから博多じょうもんさん市場を持つてくることは避けた方が良くと思う。

JA の場合、農協法の関係から資産の運用方法が限られておりますので、組合員の意見を聞きながら慎重に検討を進めてまいります。

Q3 母子店一体化が進んでいるが、次期候補支店の選定基準は何か？

基本的には築年数が経過し建替えが必要な子店を優先して一体化を進めておりますが、築年数に関わらず地元理事及び母子店長と協議のうえ着手したケースもございます。将来に亘って組合員に寄り添える JA 福岡市となるため固定資産の効率的な活用による経費削減や大型店舗化によるサービス向上及び労働環境の改善、少子化等での職員減少対策を目的として順次一体化を進めて参りますのでご理解とご協力をお願いいたします。

Q4 新板付支店前に信号機の設置を要望する。

JA 福岡市といたしましても利便性向上のため計画当初より行政や警察に要望いたしましたが現行の法制度では近くに交差点があるため増設はできないとの回答でした。改正等があれば再度検討いたします。

Q5 玉川支店の跡地はどうするのか？

農協法で跡地の利活用に制約があるため行政との協議を進めている状況です。遊休資産は処分が原則となっておりますが立地条件の良い場所ですので地元組合員のご意見を伺いながら有効利用できる方法を模索していきます。

Q6 玉川支店の口座番号は変更になるのか？また、変更になるのであれば管理会社等へ送る案内の雛形を作成してほしい。

口座番号は三宅・玉川支店で口座番号が同じもののみが口座番号の変更となり、その他は店番(店名)のみの変更となります。雛形については至急検討いたします。

Q7 建替え時に太陽光発電設備の設置要望が出ていたがどうなったか？

剰余金も 180 億円あるので、太陽光発電設置に資金投入できるのではないか？

第 60 回通常総代会で承認いただきました取得金額が 2 億 9,640 万円以内ですが、昨今のロシア・ウクライナ情勢に端を発した建築費高騰等により三宅・玉川一体化支店新築時に太陽光発電設備を設置することは見送っております。ただし、今後の動向によっては設置できる建物となっておりますのでご理解いただきますようお願い致します。

なお、三宅・玉川一体化支店は建築物省エネルギー性能表示基準の星 4 つを取得しており、通常建築物の省エネルギー基準の 1.57 倍となっております。

また、経営の健全性確保や事業の成長発展のための投資を行う目的で、剰余金は 186 億円を内部留保しておりますが、将来にわたって安定した JA 運営を行うため積み立てているもので、太陽光発電設備への投資は計画しておりません。しかし、建物など今後取得していく資産については、環境性能の高いものを積極的に採用し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

Q8 県域オールJAの話は進んでいるのか？JA福岡市の母子店一体化もスムーズに進めていくべきではないか？

現在、県下各JAが経営の底上の努力を行い、業務提携などから段階的に行う算段となっております。当JAも近隣JAと業務提携を進めていますが、合併の話は進んでいません。

JA福岡市の母子店一体化は組合員の理解を得ながら進めてまいります。

Q9 母子店一体化により母店と子店の口座番号が被ってしまった場合、どちらの口座番号が変更になるのか？

一体化する母子店において通帳の番号が重複してしまった場合には、子店の口座番号が変更となります。

企画管理部門

Q10 下山門支店の ATM 移転先はどうなっているのか？

近隣のスーパーと ATM 設置に向けて交渉を続けていますが、まだ正式に決定に至っておりません。決定次第お知らせいたします。

Q11 母子店一体化により職員はどうなるのか？

一体化の目的のひとつは今後の少子化等による採用職員数減少リスクを見据えての対策であり、決してリストラ等による人件費削減が目的ではありません。現在在職している職員の雇用は維持しながら業務遂行のための適切な配置を行っていきます。

県域オール JA・合併

Q1 県域オール JA 構想に関して、今後の JA 福岡市の対応について教えてください。

福岡県内では当 JA が一番に参加しない旨の意思表示をしており、県内およそ 7JA が参加しない方向になっております。今まで県内 1JA になっている県の総人口は 70 万人から 140 万人であり、福岡県の総人口は 500 万人であることから、県域オール JA 構想は現実的に困難だと考えています。

Q2 11/15 の西日本新聞で「全国の JA20 年余で半減」という記事が出たが、県下 JA の現在の状況はどうか？

中央会としては、県下 1JA (県域オール JA) を目指しておりますが、当 JA としては近隣 JA との協同組合間の業務提携という形で合理化をすすめています。現時点においては直ちに県下 1JA となる計画はございません。

Q3 近隣 JA との合併はどうなってるのか？

近隣 JA との一部業務提携をおこなっていますが、現時点においては合併について大きな進捗はございません。今後も情勢を注視し、情報収集を進めてまいります。

その他

Q1 支店行動計画で支店職員が作業することがあるため、支店職員にも作業服を貸与してはどうか？

全職員に作業服を貸与するのはコスト面において、難しいのが現状です。現在、作業服の貸与が必要と思われる職員（支店総合相談係長・指導経済部門職員）には貸与しております。その他の職員につきましては、使用頻度等を加味して貸与してはおりませんが、必要であれば検討します。

また、支店行動計画などに使用するユニフォームや作業服が必要な場合は、支店からの申請により承認しております。

Q2 広報誌「Jam」は右開きなので、ファイルに綴ると裏表紙が表に来てしまう。左開きにできないのか？

「Jam」の本文は原則縦書きとなっております。そのため右から左へと読みやすいように、国語の教科書同様右開きとなっております。

Q3 事業計画は中間年度であると思うが、総代懇談会資料に中間年度の事業計画と実績の比較はないのか？総代懇談会本冊子資料ではJAの現状が見えにくい。JAの本音（実際の経営状況等）が知りたい。母子店一体化の真意等、組合員へもっと事実を伝えてほしい。

計画対比がないため状況が把握しづらくなっています、令和5年上期における当期剰余金は計画5,643万円に対して実績は3億6,111万円と計画対比639.9%となっております。金融の収益が上がったことが理由で順調に推移しています。

Q4 資料の横文字や英字には注釈を入れていただきたい。

資料によっては専門的な言葉や聞きなれない横文字等の使用が必要な場合ございます。その場合は注釈を入れて、出来るだけ理解しやすい表現で資料を作成いたします。

Q5 九州大学の学生と地域との関係が希薄になっている。教授も巻き込んで関係強化を図れないか？

以前より九州大学との連携に向けて協議はしておりましたが、コロナ禍の影響で協議が滞っている状況です。再度協議を開始していく予定ですが、JAと大学という組織同士の話し合いになると大規模な協議となり、合意形成が困難であるのが実状です。

学生との交流に関しては、卒業等で代替わりするなど課題がございますが、元岡支店では青年部餅つきで九州大学留学生が参加するなど交流の機会を設けています。今後も継続して学生との交流を図ってまいります。